

3. 全体会

加藤武志委員

それでは午前のプレゼンテーションを踏まえ、下記の3点について市町村ごとに意見交換をします。その後、発言された意見を順番に発表してください。

《意見交換時の議題》

議題① ビジョン懇談会委員と意見交換した中で、気付いた点（以下、【気付いた点】）

議題② 他の提案事業と連携出来そうな点（以下、【連携出来そうな点】）

議題③ 本日集まった関係者全体を対象に、質問や意見をしたい点（以下、【質疑応答】）

《ボート王国プロジェクト事業 川辺町》

【気付いた点】

現在の提案内容では、ボート関係者のためだけの事業と捉えられてしまう可能性がある事に気付きました。また、中部地方に向けての情報発信を予定していましたが、全国規模で発信する事、日本一のボート王国を目指すことの重要さに気付きました。今後、ボート関係者以外の人をどう巻き込むかという課題や、美濃加茂市・八百津町との連携内容の詳細を詰めていくと共に、ボート愛好家のための宿泊施設の設置について、検討していきたいと思います。

【連携出来そうな点】

美濃加茂市の「地域情報放送事業」や「みのかも魅力発信！名古屋交流拠点事業」とは、ボートという非日常的な体験を知っていただく目的で、連携できそうだと感じました。また、白川町の「名古屋市民をみのかも定住自立圏域へ招くツアー事業」では、ぜひ川辺町を回る行程を盛り込んでもらい、沢山のの人に非日常体験をしていただくことが出来たら良いと思います。

【質疑応答】

本日のプレゼンでは、ボート愛好家だけでなく、ボートに関わったことのない人たちをどう巻き込むかが重要だと、指摘されました。

ボート未経験者が多いと思いますが、どうしたらボートに関わる事が出来ると思いますか？ 直感的な意見をお聞かせください。

美濃加茂市長

一般向けにイベントを設けることができれば、後々の協力者が増えるのではないかと考えます。

加藤慎康委員

川辺町が中心となって、圏域市町村がタッグを組んでボートのイベントを行うことや、圏域内のレースで盛り上げるようなことを、教育現場を巻き込みながら出来たら良いと感じました。

《「織田信長の東美濃攻略」を活用した歴史PRマンガ作成事業 富加町》

【気付いた点】

『織田信長の東美濃攻略』を活用した歴史PRマンガ作成事業は、活字媒体のものをマンガに置き

換えることで、広く普及させるという目的をもっています。しかし、何を核に伝え、伝えた後どうするか、ストーリー性があるのかという意見をいただきました。

【連携出来そうな点】

イメージを作る事業なので、情報発信に関わる事業や観光関係などの事業と連携し、成果物を共有できそうだと感じました。

【質疑応答】

歴史をPRすることを目的としたイベントを開催する時、どんな事に気を付けるべきでしょうか？有効と言われる手法含めて、自由な意見をお聞かせください。

総合戦略室長

歴史を忠実に再現するのが目的なのか、広く普及することを目的に歴史を多少脚色するのか、方向をどちらかに絞るべきだと思います。今までに無い「信長」を全国に発信してほしいです。

林 尚史委員

歴史的PR事業は全国に多々存在していますが、成功しづらい背景には、磨き上げが不十分なところがあります。全国に多数ある取り組みですので、クオリティの高さや、歴史的なゆかりの部分を徹底的に追及していくと良いと思います。例えば、歴史上の人物とゆかりのあるお寺に宿泊できるなど、付加価値を取り入れて、圏域内にお金を落としてもらえそうな取り組みが出来ると良いと感じます。

美濃加茂市長

大河ドラマで取り上げられる地域は多々ありますが、ドラマ終了後に衰退してしまった噂をいくつも耳にしました。対外的なPRではなく、自分の町の歴史や歴史上人物に対する、住民の郷土愛が生まれることが大切だと思います。

《おんさいEXPO事業 富加町》

【気付いた点】

富加町や美濃加茂市でイベントを行う意味を、しっかり考える必要があると、意見をいただきました。他のイベントとどれだけ差別化が出来るのかが鍵だと思いますが、差別化を求めるあまり、軸がぶれないよう実行したいと思います。

【連携出来そうな点】

この「おんさいEXPO事業」は、万博のようなものと認識しています。全ての事業の要素を入れ込むイメージで、他の事業と連携できると良いと感じました。この地域に興味を持ってもらうきっかけがこの事業だった、と言われるのが理想です。

【質疑応答】

無し

《みんなで子育て応援事業（子育て環境整備事業） 坂祝町》

【気付いた点】

坂祝町では子育て支援が分散しており、この機会に世代を超えて色々な方に関わっていただける拠点

施設を建設したいと考え、事業を進めています。ビジョン懇談会委員から、名古屋圏を見据え、広い視野で子育てを支援できるような事業が良いとの意見をいただきました。また、坂祝町は小学校1校、中学校1校の小さな町ということをもリットとし、つながりのある支援が出来たらよいとのアドバイスもいただきました。

【連携出来そうな点】

この事業は、情報発信することで支援を促進できる性質があるため、「地域情報放送事業」と連携出来たら良いと思います。また、子どもの教育には、自然と関わる体験が出来ると良いと考えていますので、里山に関わることでできる事業や、ボート体験などの事業と連携出来たら良いと感じます。

岸田真代委員

名古屋には、子育てに関する支援機関が多く存在します。名古屋圏を見据えた事業展開において、どんな子どもを育てるのか、どんな支援を行うのかという方向を定める事が大切です。数ある支援方法を選びながら、企画を進めて行くと良いと思いました。

《野外フェスティバルからはじまるあたらしい地域コミュニティ事業 八百津町》

【気付いた点】

町の産業に関わっていくフェスティバルにしていくことや、フェスティバルのクオリティを高めていく必要があると気付きました。

【連携出来そうな点】

「里山アートプロジェクト事業」や、「おんさいEXPO事業」、「名古屋市民をみのかも定住自立圏域へ招くツアー事業」や「生物多様性地域連携促進事業」と共に、名古屋市民に向けた企画が出来ると思います。また、「みのかも魅力発信！名古屋交流拠点事業」と連携し、地域特産品の販売や、圏域への移住について相談できるスペースを設けることが出来ると思いました。

【質疑応答】

無し

《R41カード事業 東白川村》

【気付いた点】

リーフレットの載せ方や、雑誌を使ってうまく発信する事の大切さを知りました。また、プロの業者に委託した方が、より良いものが出来ると気付きました。

【連携出来そうな点】

手段は違いますが白川町の「名古屋市民をみのかも定住自立圏域へ招くツアー事業」と絡めることや、「みのかも魅力発信！名古屋交流拠点事業」と連携して情報を発信できたら良いと感じました。

【質疑応答】

プロの業者に委託する場合、どんな業者が良いのか意見をお聞かせください。

高嶋 舞委員

業者の良し悪しではなく、どんな魅せ方・発信方法にするかがポイントです。ニーズを把握することで、お金を掛けずに事業を展開できると思います。それにはビジュアル的な部分がとても関わってきま

す。

林 尚史委員

私はメディア関連の仕事をしています。ディティールの問題にぶつかります。ビジュアル一つで発信力がぐんと高まるので、カードのデザインを考えたら良いと思います。

加藤武志委員

顧客と面白さをシェアできる取り組みが実施できると良いと思います。

《交流の場の提供とレッキーマラソンコース沿いの環境整備事業 七宗町》

《「龍神さんが棲む箱庭のまち」まちづくり事業 七宗町》

《でか金を媒体にした地域づくり事業 七宗町》

【気付いた点】

ビジョン懇談会委員の意見を聞いて、どれも具体的な目標が弱いと感じました。特に、「でか金を媒体にした地域づくり事業」では、飼育目標人数が未定だったため、具体的な目標を定める事が必要だと思います。

【連携出来そうな点】

美濃加茂市の「里山アートプロジェクト事業」や、「みのかも魅力発信！名古屋交流拠点事業」、八百津町や富加町の事業と連携できそうだと思います。でか金を紹介することで、圏域全体を盛り上げる事につながりそうです。また、『龍神さんの棲む箱庭のまち』まちづくり事業では、地域通貨の発行を予定しているので、東白川村の「R41カード事業」とも連携出来る可能性があると感じました。

美濃加茂市長

美濃加茂市では日本昭和村ハーフマラソン大会があり、毎年多くの人に参加していただいています。その理由は、コースが厳しいこと、市民のおもてなしが良いことなどが挙げられ、多くのリピーターを得ることが出来ています。レッキーマラソンのコースは、昭和村マラソンよりも自然が多い事など、他との差別化を全国に発信していくことが出来ると、より多くの集客につながっていくのではないかと思います。

《名古屋市民をみのかも定住自立圏域へ招くツアー事業 白川町》

【気付いた点】

はじめから移住に近いツアーを開催してみてもどうか、という意見をいただきました。率直に良い意見だと感じましたが、優秀な人材をどのように集めるかが課題です。

【連携出来そうな点】

白川町には、この地域へ移住してきた人がいます。名古屋圏の住民もその点を知りたいと思います。美濃加茂市が提案する「みのかも魅力発信！名古屋交流拠点事業」と連携し、名古屋市民と移住者が直に話し合える機会を設けることが出来たら良いと思いました。

【質疑応答】

白川町でも空き家問題があります。ツアーの宿泊先として活用したいのですが、具体案や成功事例な

どがあれば教えてください。

林 尚史委員

徳島県の神山町では、企業合宿をキーワードに宿場を整備した事例があります。誰を呼ぶか、を明確に定める必要があります。定住することが最終目的なのですから、地元の人と交流できるような仕組みが望ましいと感じます。しかし、何のつながりのないまま、急に長期滞在することは旅行者に好まれません。例えば昼間に地元の観光スポットを周り、夜はゲストハウスとして空き家を活用し、地元住民とお酒を酌み交わしながら交流できるような流れが出来ると、地元住民と直接つながった関係が築け、リピート性が生まれると思います。

岸田真代委員

林委員が発言した徳島県の神山町には、私も実際に行ったことがあります。インターネットで整備され、町全体で取り組んでいます。滋賀県で空き家を市民団体が活用できるよう、整備しています。滋賀県ならば近い場所ですので、ぜひ実際に見ていただくと良いと思います。

加藤慎康委員

少し前に、紀伊半島の移住者を集め、居住フォーラムのイベントを開催しました。反響が大きく、そのわずか2日後に奈良県へ向かうツアーが企画されました。このように、スピード感のある企画は、行く側にとって特別感を味わえることが出来ると思います。

八百津町の事業主体団体

ゲストハウスを運営するにあたり、ホームページなどの見せ方が大切だと思います。空き家をゲストハウスとして活用する時は、ぜひ私達に声を掛けてください。

《生物多様性地域連携促進事業 美濃加茂市》

【気付いた点、連携出来そうな点】

話を聞いて、ほぼすべての事業と連携出来そうだと感じました。この事業は、堅苦しくて難しそうなイメージを持ってしまいがちですが、地域の自然を守ることであり、圏域の内外にそれを理解してもらう事が大切です。そのためにイベントを企画していますので、多くの事業と連携していきたいと思いません。

《里山アートプロジェクト事業 美濃加茂市》

【連携出来そうな点】

日本昭和村として、本日提案書に記載された以下の7事業と連携する予定です。門戸は広く開いていますので、ぜひ声を掛けてください。

- ・生物多様性地域連携促進事業…環境フェスティバルを開催予定
- ・「龍神さんが棲む箱庭のまち」まちづくり事業…コンサートを昭和村で開催予定
- ・でか金を媒体にした地域づくり事業…でか金を昭和村内で飼育予定
- ・野外フェスティバルからはじまるあたらしい地域コミュニティ事業…昭和村で開催予定

- ・おんさいE X P O事業…昭和村で開催予定
- ・名古屋市民をみのかも定住自立圏域へ招くツアー事業…昭和村と連携予定
- ・R 4 1 カード事業…チケットなどの割引を検討中

《地域情報放送事業 美濃加茂市》

【気付いた点、連携出来そうな点】

多くの情報を発信したいので、多くの事業と連携していきたいと思います。午前中の意見交換では、アナウンス側をもっと工夫すると、リスナーを増やすことが出来るとの意見をいただきましたので、運用面をもっと考えていきたいと思っています。

《里山再生プロジェクト事業 美濃加茂市》

【連携出来そうな点】

里山をフィールドとして活用していただきたいので、美濃加茂市からの提案事業の全てと連携していくことが出来たら良いと思います。他には、子育てのフィールドとして坂祝町と連携が出来ると思います。また、白川町と連携してツアー客に、白川町とは違った里山体験をしていただくことができればと思います。

【気付いた点】

価値あるものの製品を作っていく予定ですが、それをいかに売り込むことが出来るように考えていく必要はあると意見をいただきました。また、学校ごとに分担して山の整備をすることや、地域の人に愛着を持ってもらうにはどうしたら良いかを考えていきたいと思っています。

【質疑応答】

ネーミングやキャッチフレーズについて、都会の人を呼び込むには、都会の人の言葉にして発信していくと良いことを知りました。「都会言葉」をフレーズにする時、どんな言葉が良いのか教えてください。

高嶋 舞委員

実際に名古屋圏に住む人を巻き込んで、どんなことを魅力に感じているのか、どんなことを求めているのか、現状を直接、知っていただくことが一番大切だと思います。

《みのかも魅力発信！名古屋交流拠点事業 美濃加茂市》

【気付いた点】

圏域の魅力を素材と捉え、圏域の情報を発信しようと考えています。はじめ、この事業を観光的なイメージで捉えていたのですが、ビジョン懇談会委員の意見を聞いて、素材の種類は人物や地域性も含まれることに気付きました。何かを体験する時に、プロにその道を語ってもらうことで深みが増すことや、ボート体験などの地域性を取り入れていくことが重要だと知りました。

【連携出来そうな点】

本日、様々な関係者から、連携してほしいとの声を掛けていただきました。それらすべてを、圏域の魅力ある素材として受け入れる体制にしたいと思っています。

【質疑応答】

行政のホームページなどでは公平性を求められるため、市民レベルで面白みのある情報発信ができません。ビジネス的なホームページを作成する必要性を感じていますが、何かアドバイスをお願いします。

林 尚史委員

情報発信媒体は、SNSを使用して良いと思います。大事なのは、地域情報に通じている人物を都市圏からこの圏域へ招いた時に、完璧なプランニングができるかということです。都会言葉での発信はもちろん、担当者が名実ともにこの圏域のプロとなることが重要です。情報の細部まで精通すると話に深みが増し、その人物と個人的なつながりが生まれます。招かれた人物が圏域のプロに情報を頼るようになれば、招かれた人物が別の人物に圏域を広める動きが出てくるのです。ぜひ、圏域のプロをめざしてほしいと思います。

岸田眞代委員

せっかく他の事業と連携しやすい事業ですから、1つのテーマで圏域全体をめぐるような（四国のお遍路のような）動きがあると良いと感じます。例えばスタンプを集めるなど、クリアしたときに達成感が得られるような催事があると、参加者は面白いと感じると思います。

加藤慎康委員

テーマが明確だと、人が集まりやすい傾向があります。また、圏域全体の素材をどれだけ多く集められるかが課題となります。見せ方も大切で、例えば「きそがわ日和」のような高いクオリティのビジュアルで情報発信が出来たならば、名古屋市民はこの圏域に来てくれると思います。

《K i s o ジオパークにぎわい創出事業 美濃加茂市》

【気付いた点】

まちづくり会社を立ち上げる予定ですが、その会社はキーパーソンとなるので、しっかりと定める必要性の大切さに気付きました。また、他の事業と連携して相乗効果を狙うことや、直接現場の意見を聞くことが大切だと意見をいただきました。

【連携出来そうな点】

ウォーキングやマラソンコースとして、「交流の場の提供とレッキーマラソンコース沿いの環境整備事業」と連携することや、「ボート王国プロジェクト事業」とも連携が出来そうです。その他、様々な関係者から連携案を提示していただいているので、プロの事業者とタッグを組んで実行して行けたら良いと感じました。

【質疑応答】

まちづくり会社を立ち上げた後、情報発信源となるホームページを作成していく予定ですが、どの連携自治体も編集できるようにオールインワンのホームページが作れると良いと考えています。作成に関するアドバイスを教えてください。

林 尚史委員

コンテンツはいくらでも充実させることができるのですが、デザイン性が重要です。現在、インターネット上には膨大な情報があります。情報を探す側も、ひとつひとつの情報に多くの時間を割けないため、直感的に見やすいデザインが求められています。また、同じ素材を使っても、年代によって伝わり

やすいデザインが違います。いずれにせよ、ターゲットを絞るのであれば、ある程度、具体的な内容を掲載することが必要になると思います。

加藤慎康委員

何を見せるかによって、デザインは変化すると思います。それをどう束ねていくかが大切だと感じます。事業終了後、その団体が補助金を必要とせずに続けられるかが重要です。

(ビジョン懇談会委員より一言)

高嶋 舞委員

みのかも定住自立圏で事業を実施するにあたり、圏域内部のコンテンツをどう磨くのかということと、その魅力を外部にどう発信していくかという、2つの軸があるのだと感じました。内部磨きの段階から、発信していく方向へ変化したとき、圏域外の人々をいかに巻き込むことが出来るかがポイントだと思います。どちらが軸なのか各々考えながら進めていくと、もっと素晴らしい事業になることが出来ると感じました。

林 尚史委員

本日私は、自立・定住という観点から、次の3つの項目について注目しながら聞いていました。1つめは、その事業の当事者がいて、自ら名乗り出ているかということ。2つめは、本日多数の事業同士が連携できると名乗りを上げたように、横のつながり、ネットワークを大切にできているかということ。結局、人と人とのつながりですので、関係者同士で気軽に相談できるような仲になれると良いと感じます。そして最後の1つは理想論ですが、何をゴールとし、発展性があるかどうか注目していました。単純な維持をしていくだけでなく、5年後10年後の未来像を描けるかが大切だと思います。

加藤慎康委員

私は今、まちづくりに関する職務についており、同じ立場に立つ側として、とても参考になりました。私が過去に行った企画は、人と人をつないでまちづくりを行っていました。その企画がターゲット層に受け入れてもらえるか、楽しめる内容なのかが大切で、それを磨くことが必要です。外の人々が圏域に興味を持ってもらえるようなきっかけ作りや、その人のためにその場所へ行きたいと思うような企画を、出して行ってほしいと思います。

岸田真代委員

企画を作る際の、作り方の問題が気になりました。ミスリードにならないために、どんな視点をもって実行していくかがポイントだと思います。私は、いかに利害関係者の声を取り入れて、具体化できるかに尽きると考えています。行政の意見ばかりではなく、その企画を実行することでどんな人物と関わるか、どんな人物が影響されるかを見極めなければなりません。企画段階ならば、さまざまな意見を取り入れることが出来ますが、いざ実行する段階となったとき、担い手がワクワクできるような、自分たちがやりたい事業となるかが成功の秘訣だと思います。

美濃加茂市長

本日はたくさんの方の新しいアイデアや提案がありました。私は、行政で実行できることは行政で実行し、

市民で実行できることは市民で実行できるような自治体でなければ、今後生き残れないと考えています。その意味で、本日、提案事業関係者の方と意見交換できたことは、とても有意義な時間だったと感じました。

圏域内外へ情報発信する事の大切さについて意見をいただき、改めて表現力の重要性を実感しています。実力が必要だと思いますので、皆さんと一緒に鍛えていきたいと考えています。

提案した事業がどれだけ成功するかは、まだわかりませんが、何事も過程が大切だと思っています。手をつないで連携するだけではなく、時にライバルとして競争しつつ、全国と戦える「みのかも定住自立圏事業」となってほしいと思います。

本日は、本当にたくさんの関係者に集まっていただきました。ビジョン懇談会委員の皆さんは、どの方も素晴らしい人物ばかりですので、ぜひつながりを持ってほしいと思います。

加藤武志委員

今日は、とても良い時間を過ごすことが出来ました。多くの事業主体者と知り合う機会となり、良い出会いとなりました。最終的に大切なのは、エリアや資源ではなく、人と人のつながりです。本日の機会を好機とし、市町村を越えて、今後つながっていくことが出来ると良いと感じました。

本日は有難うございました。それでは、司会進行を事務局へ返します。

事務局

長時間に渡り、有難うございました。

次回のビジョン懇談会は10月8日（水）を予定しています。本日提案した事業の内定を行うことが主題になります。本日の懇談会を通して、修正事項を修正していただき、次回のビジョン懇談会で変更点を報告することもできますので、可能な限り提案事業のブラッシュアップを図っていただきますよう、お願いいたします。

(終了)